

野木第二工業団地の第2期予約公募の結果について

現在造成中の野木第二工業団地（事業主体：栃木県土地開発公社）の第2期予約公募において申込のあった企業を栃木県土地開発公社企業誘致検討委員会において審査し、立地企業が次のとおり選定されました。

○6BL 株式会社ジアースコーポレーション

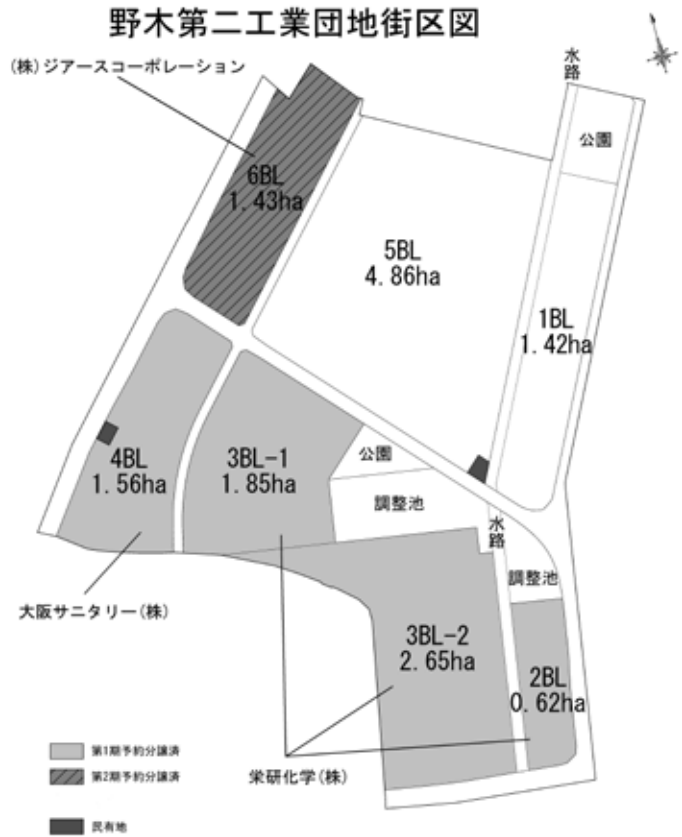
また、4月24日に、事業主体の栃木県土地開発公社と株式会社ジアースコーポレーションが、役場公室において予約契約の調印を行いました。

予約契約に際し、栃木県土地開発公社吉田理事長より野木第二工業団地進出に対する御礼、真瀬町長より歓迎の言葉が述べられました。

株式会社ジアースコーポレーションは野木工業団地内で操業しており、住宅用部材を製造しています。



問未来開発課 ☎(57)4113



野木町では今年も野木神社のケヤキの高木にフクロウが営巣してくれて3羽の雛が孵きました。自然界の営みは変わることなく季節を感じて循環していることに、ホッと安堵しています。三羽のつばらな目で下に広がる人間界の動きを見ている姿はなんとも微笑ましく幸せな気分になってしまいます。まさしく幸せ運ぶ「招福の鳥」そのものです。雛が順調に育ってくれることを、多くの人々が見守ってくださいたいです。

↓野木神社のフクロウ（5月3日 近藤光治氏撮影）



↑川田地区に現れたコウノトリ（5月1日 町職員撮影）

豊かな自然に感謝!!

ひろ
コラム

No.88



野木町長 真瀬宏子

また新聞で記事にもなりましたが、野木町にも4、5月と、続けてコウノトリが飛来して田んぼのドジョウやカエルなどをゆつくりとついばんでいました。足の鑑札から「ひかる」君であると確認されました。私が知らせを受けて見学に向かいました圃場は、自然有機農法で長年営農しているところでしたので、コウノトリも豊富な餌があったところをよく知っていると感じしました。

町にはまだまだ豊かな自然が残っているのだと実感した次第です。皆さんこれかも力を合わせて野木町の自然を守っていきましょう。

新井秋良さんが人権擁護委員に委嘱されました



新井秋良さん（友沼小学区）が、須見明世治さんに代わり平成 30 年 4 月 1 日付けで法務大臣より新たに人権擁護委員に委嘱されました。

野木町には人権擁護委員が 5 人おり、人権に関する相談活動や人権問題の解消に向けた啓発活動等を行っています。毎日の暮らしの中で起こる差別や虐待、パワハラ、嫌がらせ、いじめなどでお困りの方はお気軽にご相談ください。

※人権相談の日時・場所等につきましては広報のぎの「相談コーナー」をご確認ください。

元気はつらつ!! 交通安全グラウンドゴルフ大会

4 月 12 日（木）、あじさい公園にて第 5 回野木町交通安全グラウンドゴルフ大会が開催され、小山警察署長様を始め、多くのご来賓に出席していただきました。春の青空のもと、「明るく、楽しく、元気よく」をモットーに、117 名の参加者が日々の練習の成果を十分に発揮されました。また、交通安全の啓発としてコース間に作った横断歩道渡る際には、参加者が手を挙げて規律よく横断している姿が印象的でした。

●優勝者【敬称略】

男性の部：石塚 晴雄（新橋ローズクラブ）

女性の部：神谷 ミイ子（ヘルシーGGクラブ）



渡良瀬遊水地クリーン作戦が行われました!!



4 月 21 日（土）、渡良瀬遊水地において、ボランティアと周辺自治体（6 自治体）による協働の清掃活動が行われました。渡良瀬遊水地全体のクリーン作戦は今回で 18 回目となり、近年はごみの不法投棄は多少減少しましたが、貴重な自然環境や景観を保つために毎年実施しています。

当日は 150 名の参加により、タイヤやドラム缶などの粗大ごみを含む約 2.3t のごみが回収できました。

これからも遊水地を気持ちよく利用できるように、一人ひとりガマナーを守り、私たちの憩いの場である渡良瀬遊水地の自然を大切に保全していきましょう。ご協力ありがとうございました。

JICA ボランティア

佐川優さんが表敬訪問されました

3 月 22 日（木）、野木町在住の佐川優さんが町役場を表敬訪問されました。「34 年間、企業で勤務したあと、福島復興に少しでも役立てればと思い、早期退職し福島県で 3 年半勤務しました。福島県における自分の担当職が一段落したので、長年の夢であった海外で生活し、世界の人のために役立つことがしたい。」と、ボランティア参加動機を語る佐川さんは、シニア海外ボランティアとしてメキシコに派遣され、経営管理の側面から日墨(にちぼく)協会の発展のために活動される予定です。

